

住民の自主的な活動が創る

駅前活性化の取り組み — やどかり市 —



ワークショップとは、参加者が自主的な活動方式で参加・体験し相互作用の中で課題について学び合い、創り出していく研究集会のことです。

これまでの取り組み

平成24年度

田原本駅前活性化プロジェクト第2弾として、10月13日から19日に行われた「やどかり市」。

今月号では、やどかり市に携わったワークショップの参加者や、戎通商店街企画の「一店逸品」に参加した店舗を取材しました。

☎ 町域公共交通活性化協議会事務局（まちづくり推進室内）
☎ 34・2085

田原本駅前の活性化を検討するワークショップを、平成24年度に田原本町地域公共交通活性化協議会において、参加メンバーを募集し、第1回目を開催しました。そして、いろいろな意見を出し合い、駅周辺の活性化に向けた課題と方向性について検討を始めました。

応募いただいた参加者には、店主や、主婦や定年を迎えられた人などがいて、商売をする立場の人と買い物に行く人の立場などそれぞれの立場で意見を出し合いました。

ワークショップの参加は初めての人もいましたが、皆さんが自由に発言し、他の人の意見を聞いて、回を重ねるごとに、場の雰囲気も良くなり、次へとつながる意見を出していただき、上手くワークショップの場が回っていくようになりました。

平成24年度には、3回のワークショップを開催し「活性化に向けてどのようにしていくのか、何ができるのか」をグループに分かれ検討しました。

平成24年度のとりまとめとして、今後のテーマを「人がまじわり、まちらしさ光る田原本駅前（仮）」としました。活性化の資源として、遺跡・歴史文化、農産物、昔ながらの雰囲気・空き家、若者・高校生などの新たな担い手が挙げられました。

駅前活性化の方向性まとめ

駅前活性化のテーマ

- 日常に便利な商店街
- 歴史・文化のアピール
- 交通便利、歩いて楽しい



平成25年度の取り組み

十六市に合わせ、学生と連携し、駅前の空き店舗を活用した実験的なイベントに取り組む！



福原 誠作さん
Fukuhara Seisaku

私は、会社を息子に譲り、体力がない分、文化的な面で役に立つことをやってみたいと思います。ワークショップに参加しました。ワークショップに参加して、人との交流が密になり、多くの人に接し、教えられることが多くありました。そのことが次への活力につながっています。昨年はやどかり市は初めての開催で、ワークショップ参加者の関心が低かったように感じました。しかし、今年は、かぎぐるま作りや、さまざまなイベントを開催して、人を呼び込もうとする意欲が違います。また、既存店舗がやどかり市に関心を持ち、協力してもらえるようになりました。

ワークショップ 参加者インタビュー

昨年からワークショップに参加している福原さんと岡西さんに、どのような思いで参加したか、参加を通じての感想などを聞きました。

田原本駅前活性化に向けて、もっとさまざまな人にワークショップへ参加してもらい、町が盛り上がるよう考えていきたいと思っています。



岡西 幸代さん
Okanishi Sachiyo

近所の人の紹介でワークショップを知り、田原本駅前周辺がシャッターで閉まった現状を見て、生まれ育った田原本町のために協力したいとの思いで参加しました。ワークショップを通じて、町内だけでなく、町外にも情報を発信していきたいです。町外の人に来てもらうことで、少しでも活性化につながれば良いと思っています。



▲昨年のやどかり市の様子

平成25年度

平成25年度も引き続きワークショップを開催し、年度の1回目には、ワークショップ参加者が、街歩きを実施しました。駅周辺を普段よりゆつくり、じっくり歩くことで、普段気付かないことにも気付くことができ、良い点や課題について話し合いを行いました。

駅周辺を実際に歩いてみると、空き店舗が気になるという意見が出されました。平成24年度に行った駅前活性化の方向性のとりまとめでも出たように、空き店舗の解消が駅前の活性化につながるのではないかといいことで、そのための取り組みの実

施を検討し、空き店舗を活用するイベントを企画・実施しました。

1回目のイベントの際に、空き店舗を活用したイベントであるということで「やどかり市」と名づけました。

空き店舗については、ワークショップ参加者と共に戎通りの各商店を訪ね情報を集め、所有者への交渉を行いました。その結果7件の空き店舗を借りることができ、イベントに活用することができました。

第1回やどかり市について

第1回やどかり市は、平成25年10月7日〜20日の2週間の期間で実施しました。空き店舗には、出店していただける事業者を募集し、活用してもらいました。

ワークショップでは、どのようにすれば多くの人に来てもらえるかを考え、交流人口の増加を目的に検討を進めました。実際に平日の来訪者を増やすために、ハーブティーなどの大人の女性向けの教室や、子ども向けの陶芸教室を実施しました。

やどかり市の開催後、空き店舗に4店舗の常設店舗が営業を始めました。また、アンケート結果からは、今回のイベントをきっかけに初めて戎通りに来た人がいるなど、成果があったように思います。



10月13日から19日にかけて、町地域公共交通活性化協議会が、田原本駅前戎通商店街で、空き家を活用し、まちの活性化を目的として企画した「やどかり市」が開かれました。

今年で2回目となるやどかり市は、戎通商店街のお店とコラボし、店舗で自慢の商品やサービスを提供する「一店逸品」を開催しました。一店逸品では、昔の懐かしい写真を展示したり、限定の食べ物や商品を販売したりして、商店街が活気付きました。

13日は、磯城野高校の生徒が、自分たちで育てた野菜や米、手作りのクッキーなどを販売し、大勢の買い物客で賑わいました。また、18日は連続テレビ小説「マッサン」のロケ地になった教会などを巡る「ぶらり田原本まちあるき」が行われ、歴史や文化に親しみました。

そして、最終日の19日は、昭和の時代を再現した映画館で「映画上映会」が行われ、親子などで懐かしの作品を鑑賞しました。



磯城野高校直売所…毎週火曜日、午後3時40分～4時に学校で行っています。
 問 磯城野高校 ☎ 32-2281
 ◀公式マスコットの「しきのいろどりん」▶

「ぶらり田原本まちあるき」に参加した2人に、参加のきっかけや感想を聞きました。

今まで田原本町は、車で通るだけであまり来たことがありませんでしたが、まちあるきに参加して、知らない所をいっぱい知れて面白かったです。実際にテレビのロケ地も見学できて、貴重な経験になりました。これからも、まちあるきなどのイベントに参加して、いろんな観光地を巡りたいです。



寺坂一宏さん

連続テレビ小説「マッサン」のロケ地になった教会の中が見れるのを知り、まちあるきに参加しました。私は、この教会をテレビで観ていて、実際に見ると教会が大きく見え、見学できてとても良かったです。また田原本町を訪れて、さまざまな観光名所をもっと知りたいです。



寺坂麻里さん



①磯城野高校の生徒による野菜などの販売②かざぐるま、もらったよ③④
 空き店舗を活用したカレー屋と花屋⑤懐かしの写真を展示⑥大勢の人で賑
 わう⑦LaQ クジに挑戦⑧まちあるきで神社などを巡る⑨「マッサン」の
 ロケ地の教会（下記参照）を見学⑩町食生活改善推進員による試食の提供
 ⑪昭和の田原本駅前を再現した映画館での上映会⑫かざぐるま作りに挑戦
 ⑬田原本の地域商品を購入する⑭見て、きれいなお花



連続テレビ小説「マッサン」のロケ地
 日本聖公会 **田原本聖救主教会**

日本聖公会の田原本布教の歴史は、明治16年の説教会に始まり、明治28年には最初の会堂を建築し、伝道を本格化しました。

現会堂は、昭和8年に建てられ、木造平屋、屋根はさんがわらぶき棧瓦葺、鬼瓦の紋には十字架が付いているなど、随所に細工が施されていて、当時の面影を留めています。

今年の「やどかり市」を終えて

今年はやどかり市では、去年と違い、一店逸品などに協力できて良かったです。

また、やどかり市の期間中は一店逸品の商品が比較的よく売れ、知らない人に来てもらえるきっかけになりました。

私は、新しくお店に来ていただいたお客さんとの対話を大切にしています。対話をする事で、安心感が持て、また来店してもらえ、雰囲気づくりに努めています。今回は、いろんな観光地を巡るイベントなどもあり、町外からも来てもらえる機会になりました。これからも、やどかり市が続く一人でも多くの人に商店街へ足を運んでもらいたいと思います。そして、イベントなどにも参加して、商店街が活気付くよう一緒に考えていきたいです。



五石はつ乃家
服部 誠さん
Hattori Makoto

既存店舗インタビュー

やどかり市商店街企画「一店逸品」に参加しての感想や、今後の田原本駅前商店街について聞きました。



竹中写真館
竹中秀司さん
Takenaka Hideshi

あこのころの写真として、田原本駅前周辺の懐かしの写真を店舗前に展示しました。

やどかり市の期間は、多くの人が立ち止まって写真を見たり、声をかけてくださったりして、店内へ入ってもらえるきっかけになって良かったです。また、田原本に初めて来た人にも興味を持ってもらえる機会にもなりました。

私の父は、よく「昔、田原本駅前はずっと多くの人で賑わっていた」と話します。昔のように人通りが多く、活気あふれる駅前になってもいいです。

これからも、空き店舗などを活用して、やどかり市を続けてほしいです。そして、既存店舗同士で話し合い、店舗が協力して駅前を盛り上げていけたらと思っています。

今後の田原本駅前活性化に向けて

平成25年度の第1回「やどかり市」に引き続き開催された第2回「やどかり市」。

今年度は、昨年度の課題を踏まえて、既存店舗との連携を大切に進めてきました。

やどかり市の期間中には、既存店舗ごとの「この逸品」や「このサービス」を一店逸品という形でご協力いただきました。

やどかり市の振り返り

やどかり市を終えて、今後の駅前活性化に向け、ワークショップで出した意見は次のとおりです。

既存店舗と協力することができて良かったです。また、田原本町内の事業者が製造している商品を販売するコーナーを設け、来訪者に地域の商品を知ってもらうことができました。そして、磯城野高校の野菜・卵・ジャムや手作りのお菓子などの販売は、大盛況でした。

磯城野高校やまちあるきなどたくさんの方の来訪者で賑わいましたが、商店街を歩き回ってもらえる工夫が少なかったことが、次回への課題として考えられました。

今後も駅前活性化を考えていきます

今年度のやどかり市では、既存店舗と協力して進めることができ、駅前活性化に向けての一步を踏み出しました。

現在、県の協力の下、今後につながる活動として「魅力ある店舗作り」を考えています。

魅力ある店舗とは何なのかを、既存店舗の人も交え、ワークショップで検討し、関係機関などの協力を得て、進めていきたいと考えています。

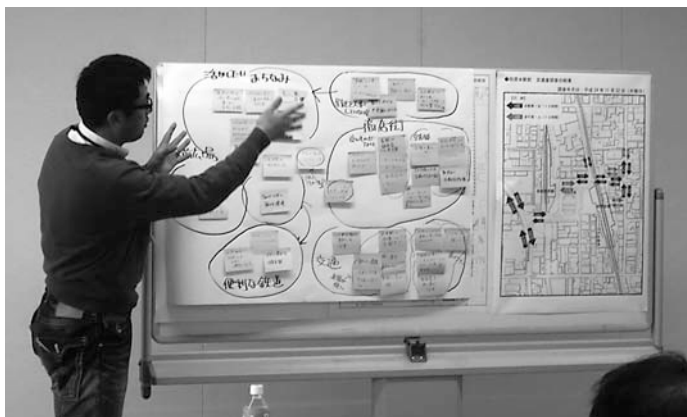
魅力ある店舗があることで、店舗を目的地として人が訪れます。人が訪れることで、街に賑わいをもたらす、消費活動を行います。そのことが、街全体の活性化につながると考えています。

そして今後は、魅力ある店舗作りのためにも、若手事業者の感性を取り入れ、駅前活性化を考えていきたいと思っています。

これからの駅前活性化に向けて、ワークショップに参加して、一緒に考えていきませんか。

活動の様子

駅周辺の状況を街歩きで確認したり、空き店舗の掃除や意見を交わしたりして、駅前の活性化を考えています。



町内在住・在勤の40歳以下の商業者の皆さんへ

ワークショップに参加してみませんか

田原本駅前活性化に向けて活動しているワークショップの人たちや、既存店舗を紹介してきました。

そして、次回の取り組みとして、駅前に魅力ある店舗作りをしたいと考えています。

そこで、今後の田原本駅前活性化のため、新たに商業者にワークショップへ参加してもらいたいと考えています。次の応募資格に該当する人を募集します。

ワークショップのご案内

テーマ

田原本駅前の活性化について、具体的な取り組みを検討していきます。

活動期間

平成27年1月～平成28年3月ごろの平日夜間（月1回程度、ワークショップを予定しています）

応募資格

町内在住・在勤の40歳以下（平成26年12月1日時点）の商業者で、ワークショップに継続して参加できる人

応募方法

12月26日（金）までに、参加申込書を次の提出先まで持参または郵送（同日消印可）してください。

参加申込書はA4サイズで任意様式とし、左記6項目をご記入ください。

- ①氏名（ふりがな）
- ②年齢
- ③性別
- ④住所・電話番号（日中連絡可能なもの）・Eメールアドレス
- ⑤職業（勤務先）
- ⑥ワークショップへの参加動機（これまでのまちづくりへの経験や、田原本駅前に対する思いなども含めてご記入ください）

※記入された個人情報、会議の日程などの連絡目的以外には使用しません。

提出先

田原本町役場まちづくり推進室
まちづくり推進係（〒636・0392 田原本町890の1）

その他

- 会議の参加に伴う謝礼、交通費は支給しません。
- 提出書類は返却しません。また、応募用紙に記載された個人情報は、田原本町個人情報保護条例に準じ、適切に管理します。
- 次回のワークショップの開催については、書面で通知します。